

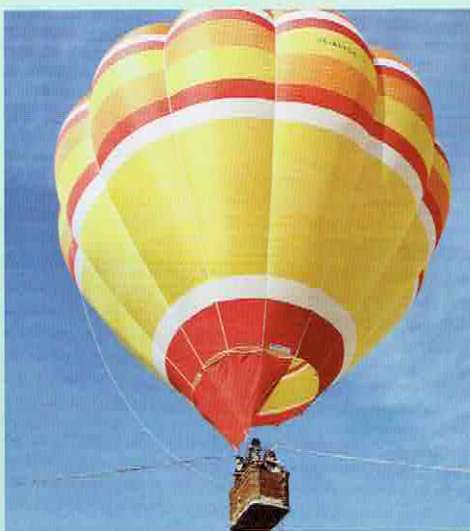
首都圏大曲会会報 第35号

ふるさと大曲

題字 漆谷一男

令和5年12月発行 発行所：〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(3341)6339 FAX 03(6273)0081 eメール: info@e-prosjp.com <http://www.supportlife.com>

青空に熱気球が上がった(四ツ屋まつり)



大会提供の花火は会場を埋め尽くした大観衆が、万雷の拍手と歓声で迎える

「大曲の花火」屋花火の部優勝
福島県 有限会社菅野煙火店 昇り曲
付五色の煙電の舞」



いろいろ

彩のまち!話題豊かな大曲

首都圏大曲会会報 第35号

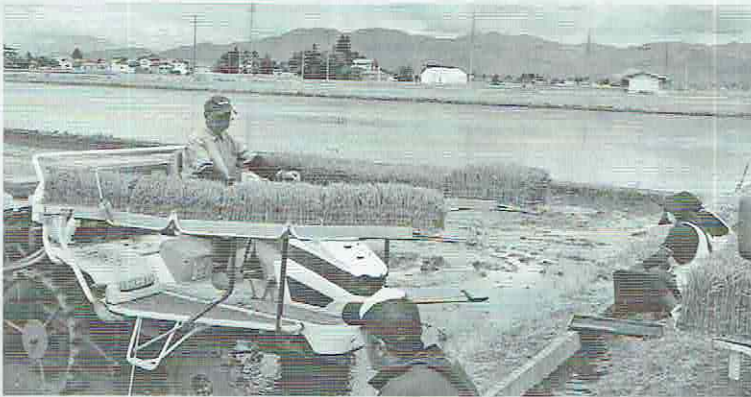
4年振りに開催された首都圏大曲会の総会兼親睦会。
新しい会場で気分新たに、各人熱気あふれる総会だ



「新米のアキタコマチ」をお召し上がりください。

秋田県特別栽培農産物認証

アキタコマチの田植えをする生産者・佐藤久男さん



うちしろきん
内城菌パワーで
こだわりの
有機米
『アキタコマチ』
安全・安心
食感が自慢です。

「アキタコマチの新米は本当に美味しい。今年の収穫が待ち遠しい」と、今井通子様と石川直美様の仲良し親子です。

(神奈川県横浜市港北区)



「佐藤久男さん
生産のアキタコ
マチは、春夏秋
冬、いつ食べて
も美味しい」と、
肥後ミツ様。

(千葉県八街市)



「こだわり米のアキタコマチ」 注文Fax番号: 0187-62-5614

ご注文の方は、どうぞFaxでお申込みください。

・お申込みの個所を○でお囲みください。

特別栽培こだわり米	5 kg袋	10 kg袋	20 kg袋
①減農薬 化学肥料不使用 (内城菌有機肥料のみ散布土壌)	3,000 円 (個)	5,000 円 (個)	9,800 円 (個)
送料ご負担分	1 袋 200 円	1 袋 400 円	1 袋 400 円
②減農薬 化学肥料40%使用 (内城菌有機肥料+化学肥料散布土壌)	2,300 円 (個)	3,800 円 (個)	7,500 円 (個)
送料ご負担分	1 袋 200 円	1 袋 400 円	1 袋 400 円
ご注文合計数	(個)	(個)	(個)
品物+送料合計	円	円	円

ご住所⇒ 〒

お名前⇒

電 話⇒

◆販売量に限りがございます。売切れの節はご容赦願います。

○お問合せなどのご遠慮なく、お電話かFaxでお寄せください。

〒010-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42 生産・販売者 佐藤 久男

電話 0187-66-1702 Fax 0187-62-5614

首都圏大曲会

会費のお振込みにご協力
有難うございます。

首都圏大曲会会員の皆様方には、いつも会費のお振込みにご協力頂き有難うございます。皆様方からの会費は、会報「ふるさと大曲」の発行を初め諸活動や首都圏大曲会維持のため有用に使用されております。ゆうちょ銀行に口座（通帳）をお持ちの方は、お持ちの口座から首都圏大曲会の口座に振り込むと手数料は低額ですが、現金で振り込むとかなり高額になります。現在、振込み番号を申請中ですが認可が厳しく難航しています。なお、市中銀行等に口座をお持ちの方は、りそな銀行の首都圏大曲会口座をご利用下さい。

年会費 一家族（何人でも可）千円
納入法 ゆうちょ銀行（郵便局）に口座をお持ちの方は、ご自分の口座から、直接、首都圏大曲会の口座にお振込み下さい。

記号 11330
口座番号 20455001
受取人名 首都圏大曲会

◆都市銀行等の金融機関から

店名 りそな銀行九段支店
店番 274

口座番号 1320364
預金種目 普通預金
口座人名 首都圏大曲会

首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第35号 目次

□令和5年度

首都圏大曲会総会・親睦会を開催！

四年振り 新橋・第一ホテル東京で賑やかに

4

【ご案内】「第13回 東京で、大曲の花火」を観て

みんなでカラオケを楽しむ会

7

大曲中学校修学旅行団（星凜学年）修学旅行団

東京・上野公園 在京先輩たちと校歌・秋田県民歌大合唱

8

◇大仙市役所訪問

観光文化スポーツ部文化財課

10

第95回 全国花火競技大会（大曲の花火）

華麗に重厚に 大曲の夜空を飾る！

14

第14回 「四ツ屋まつり」賑やかに開催

20

ぶらり 東京近郊を散歩（小江戸・川越②）

24

首都圏大曲会

鈴木繁副会長逝去 19

なかまの広場 18

会長アピール

同級会を続ける意義 大釜茂璋 23

まちの話題・編集後記 26

（写真・編集資料協力 大仙市、田口元也、中村あや、伊藤瑞子、田口恵子、平岡 司・大釜浩璋、児玉匠司

順不同、敬称略）

地域の
元気の
お役立ち♪



株式会社 タカヤナギ

Tel. 0187-62-1234 (代)
http://www.e-takayanagi.com



4年振りに開催された総会。老松市長や挽野大曲商工会議所副会頭も出席された総会は参加会員も大張り切り。積もる話に花を咲かせて、みんな楽しい雰囲気を楽しんでいた

令和5年度 首都圏大曲会総会・親睦会

第一ホテル東京(新橋)に会員集う!

老松市長は精力的に各テーブルを回りながら談笑し、ふるさとの情報提供や会員の声に耳を傾けていた



会代表などが出席してくださいました。地元物産の即売も出店し、「これが楽しみ」という会員の声も聞かれ、従来同様賑わいました。

今年の八月五日(土)、首都圏大曲会は「令和5年度/首都圏大曲会総会並びに会員親睦会」を、東京・新橋の第一ホテル東京で開催しました。

年一回の総会開催は規約に遵守して会創設以来開催してきたのですが、新型コロナウイルスの発生によって、令和二年以来昨年まで中止を余儀なくされていたものです。

猛威を馳せていたこの感染症

も、今年五月以来、5類に移行したことから社会の動きも徐々に落ち着きを取り戻しました。この期に及び首都圏大曲会は、幹事会の総意で、四年振りの総会開催を決定したものです。

会場は従来の帝国ホテル東京から第一ホテル東京に替え、再出発の気持ちで新たにしました。それでも悪質なウィルスを心配して人混みを避け、加えてこの夏の異常とまで言われた猛暑を避ける人も多く見受けられ、参加者は九十名弱でした。

四年振りに開催されて「この日を待っていた」と張り切る会員や、大仙市からも老松市長や地元選出の市議会議員、ふるさと会担当する高橋移住定住促進課長、進藤加奈恵主査、大曲商工会議所挽野副会頭、各ふるさと会代表などが出席してくださいました。

花火の映像にふるさとの夏を偲ぶ

四年振り 話しも弾み賑やかに

4年振りの総会とあって前から楽しみにうずうずしていたと、友だちと一緒にニコニコ参加して来る会員も見られました。中には、普段は全然会えない中学校の同級生たちが、電話で連絡を取り合いながら、ミニ同級会

の積もりで参加したと言う人もいて、この総会兼親睦会を自分たちの同級会と位置付けて楽しむ一団もあり、懐かしい中学時代の思い出に浸りながら、賑やかな話しに花を咲かせていました。総会は午後二時半にお開き

になりますから、その後は、ホテルの外で新たに店を変え、楽しかった会の延長を楽しんだ集団もあったようです。

総会では、老松市長や挽野副会頭のご挨拶の中でも「大曲の花火」に触れられたように、絢爛豪華な「大曲の花火」は、今や大仙市をふるさととする人々みんなの誇りです。総会が始まる前に、映像で紹介する「大曲の花火」を楽しむに



会員が集うと若い日に帰心から楽しくなる。急逝した鈴木副会長の顔も見える

する人も沢山います。映像は、打ちあがる花火だけでなく、花火の背景に映る西山の姿を見て懐かしく涙する人も見られます。



「大仙市の乾杯は地元産の日本酒で」と、総会司会を務めた大友律子副会長



老松市長は親睦会でも席の温まるヒマも無く、参加者の席を回って声を掛けていた。大仙は民謡の宝庫ばかり、富士琴美さんの秋田民謡に耳を傾ける老松市長

に気づいた時、「ふるさとの大曲が本当に好きなんだと、改めて気付くことがある」と、笑って話す会員もいました。

会場の中には、大曲地域を中心とした土産の即売コーナーも設けられ、会員間でも圧倒的な人気を保っています。

今回も総会出席者全員に、お土産として、大仙市高関の佐藤久男さんから「こだわりのアキタコマチ」の提供を受けました。（6頁に関連記事）佐藤さんは首都圏大曲会の活動に、常に協力してくださり、度々支援の言葉をかけてくださいます。内城菌パワーでバツグンの食感を持つ佐藤さん生産のアキタコマチは、会員間でも圧倒的な人気を保っています。



大曲商工会議所

会頭 齋藤 靖

〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町1-13
【本部事業部】TEL 0187-62-1262
【花火振興事業部】TEL 0187-88-8073
URL: <https://www.omagari-cci.com>

賑やかに盛り上がった親睦会

ふるさと偲ぶ秋田民謡

富士琴美さんが特別出演

千葉とし子さん、畠山光洋さんはCDで参加

無事に総会が終わると、お待ちかねの親睦会が始まります。今年では会員にとってはお馴染みの民謡歌手千葉とし子さんとご主人の二代目藤丸東風さん、今、津軽三味線で売り出し中のご子息畠山光洋さんが、他のお仕事と重なり、来年は必ず期待に応えますとの約束をしながら



地元民謡を熱唱する富士琴美さん

ら、CD「夢絃奏風(Mugen Soul)」で出演に替えました。そのため、大曲出身の浪曲師富士琴美さんが孤軍奮闘、大仙市出身者には誰も懐かしい「秋田おぼこ」や「生保内節」などの秋田民謡を、ふんだんに歌ってくださいました。富士さんには心から感謝します。



秋田民謡が流れる陽気な雰囲気の間、会場風景。みんなご機嫌だ

富士琴美さんは、本来は浪曲師で、東京・浅草を中心に全国各地で公演をする売れっ子ですが、この日は特別に民謡一筋に歌って首都圏大曲会のためにサービスしてくださいました。これには民謡大好きな首都圏大曲会の会員も聞きほれる中で、親睦会の雰囲気は大いに盛り

地元企業・商店のご協力を得て

人気を呼ぶ福引大会

特別賞に黒湯温泉・妙乃湯・都わすれの宿泊券

親睦会で会員が楽しみにしていることに福引大会があります。景品は盛り沢山、大仙市でも大曲地区を中心とした商店や企業からご厚意の品々が景品として提供されますから、抽選会が始まると会場の雰囲気は一段と活気づきます。提供して下さった景品の写真と共に企業や商店名が印刷されたパンフレットを手に、首都圏大



乳頭温泉郷や夏瀬温泉の宿泊券は大人気。当選者は妙乃湯の京子女将から直接手渡されて、当選者たちは大喜びだ

曲会築地副会長の軽妙な司会とともに、会場は盛り上がり上がりました。この会のため特別取り寄せた大仙市長野の鈴木酒造店、銘酒「秀よし」の酔い心地も加勢して、聴くほどに酔うほどに熱気ムンムン、会場中に満ち溢れました。今年の総会にも「秀よし」の鈴木社長が出席して、雰囲気盛り立ててくださいました。

「四季それぞれに魅力がありますが、雪化粧の秘湯の雰囲気は、語れぬ良さがあります」と京子女将は話していました。

総会に参加者のお土産は、今回の総会でも佐藤久男さん(大仙市高関在住)のご厚意による、「こだわりのアキタコマチ」でした。首都圏大曲会の活動に協賛して下さる佐藤さんは、会の活動に役立てて欲しいと、自らの手で丹精を込めて生産したアキタコマチの提供を毎回申し出てくださっています。

「秋田県特別栽培農産物」の認証を得ている、バツグンの食感を持つアキタコマチです。詳しくは、本誌2ページをご覧ください。

お土産の「アキタコマチ」

今回も佐藤久男さん提供

米どころ秋田が誇りと

首都圏大曲会主催 東京で“大曲の花火”を観て みんなでカラオケを楽しむ会

首都圏ふるさと会 みんなで楽しもう!

開催日: 令和6年2月10日(土) 会場: アルカディア市ヶ谷

令和5年8月26日、伝統の第95回「全国花火競技大会」が、盛大に開催されました。好天にも恵まれこの夜、私たちのふるさと大曲の夜空は、絢爛豪華な花火に彩られました。首都圏大曲会は2月10日(土)アルカディア市ヶ谷で、この興奮をもう一度とばかりDVDで、「東京で“大曲の花火”を観て、みんなでカラオケを楽しむ会」を開催します。ふるさとの地酒も用意して、大仙市首都圏ふるさと会の皆さんどなたでも大歓迎です。



第94回大曲の花火



DVDで第93回「大曲の花火」を観る参加者たち。ふるさとの夏を偲ぶ

自慢のノドも調子よく

子どもの頃、花火の朝、ボンと心で勢よく聞こえる花火の音に心を浮き立たせ、夕闇の中、打ち止めの花火の音を心淋しく聞いた思い出。秋の訪れをどこか切なく感じたものです。

首都圏大曲会は、東京で「大曲の花火」を観たいものと言う会員の声を受けて、DVDで花火を観賞し、地酒を飲みながらカラオケを楽しむ会を開催してきました。今回で第13回を迎えます。この集いは、今や大曲会

第13回東京で「大曲の花火」を観てカラオケを楽しむ会

会員だけでなく首都圏各ふるさと会のカラオケ大好きな会員も参加し、花火観賞と共に自慢の喉を競う楽しい会となりました。

日 時 令和6年2月10日(土)
午前11時半
午後1時半

受付開始 午前10時45分
会場 アルカディア市ヶ谷



自慢のノドにうっとり。みんな気持ち良さそう

「東京で『大曲の花火』を観て、みんなでカラオケを楽しむ会」も、花火観賞後のカラオケ大会は大人気です。首都圏大曲会会員だけでなく、この集いに参加したい方誰でも大歓迎です。出演希望者は当日その場で受け付けます。奮って自慢のノドをご披露ください。

新型コロナウイルスも5類に移行し、各ふるさと会は賑やかに総会兼親睦会を開催しました。各会とも久しぶりの集いを思いっきり楽しんでいました。楽しみ方は各会それぞれでしたが、どの会もカラオケが人気を集め、日頃鍛えたノドを競っていました。

自慢の歌い手歓迎

各ふるさと会

- 会費 8,000円
申込み 昼食の準備がありますので2月5日(月)までお名前・ご住所・参加人数を明記してご連絡ください。
- ①葉書 〒162-0054 新宿区河田町6-6 首都圏大曲会
- ②メール info@e-prosjp.com
- ③電話 03(3341)6339
- ④Fax 03(6273)0081

大曲中学第61期生(星凛学年)修学旅行団

校歌「よく生きよ」、秋田県民歌「秀麗無比なる」

上野公園野外ステージ 在京先輩たちと大合唱

広い東京の青空に残す

若い日の忘れ得ぬ思い出

大曲中学校三年生(星凛学年)の東京方面への修学旅行が、今年8月29日から9月1日までの三泊四日で行われました。この修学旅行団は東京で最初の行動として、上野公園野外ステージで、同校校歌「よく生きよ」と秋田県民歌を歌い、若い日の思い出を作っています。

中学校時代の忘れ難い思い出と言え、修学旅行をあげる人が圧倒的に多いことでしょう。大仙市立大曲中学校三年生(星凛学年)の修学旅行は令和5年度、8月29日から9月1日にかけて行われました。修学旅行は若い時代の貴重な思い出の一つとして、誰もが

脳裏に刻み込まれています。大曲中学校は、生徒たちの修学旅行の思い出の一つとして、上野公園の野外ステージで校歌と秋田県民歌を歌う画期的な企画の元に、令和元年に第一回を実行しました。

会場の野外ステージには、東京など首都圏に住む大曲中学校を卒業した先輩、中学は違っても大曲に関わりのある人たちが駆けつけ、中学生たちと校歌は歌えなくても、秋田県民歌を声張り上げて歌い、修学旅行団を歓迎しました。

大曲中学校の校歌「よく生きよ」は、最初から歌い終わるまで10分はかかる日本一長い校歌として知られています。

作詞本郷 隆、作曲佐藤長太郎による校歌は、「よく生きよよく生きよ」に始まる、父母や先生たちの祈りと願いを込められた、溢れるような愛情が込められています。

新型コロナウイルスが影響したこの間、中止を余儀なくされてきました。感染症も落ち着きを見せたところで今年第二回が行われたものです。

猛暑だったこの夏でしたが、この日は、蓮の花は盛りを過ぎていましたが、不忍池を渡る風も気持ちよく、修学旅行団のみなさんを優しく歓迎しているよ



「よく生きよ」 中学生の歌う校歌は、美しく力強く不忍池に流れ、東京の空高く吸い込まれて行った
(写真撮影 田口 元也・首都圏大曲会幹事)

大曲中学校 校歌

作詞 本郷 隆
作曲 佐藤 長太郎

よく生きよ よく生きよ

故郷の 父母の 恩師たちの
言葉には出ない 願いかもしれない

その声は呼びかける 明るすぎまぶしすぎて
見えない言葉が呼びかけてくる
よく生きよ

その声は はじめはかすかに
開きかけた花の蒼のうす暗い花昏のように
目覚めたばかりの春の海底に
光っては消える さかなの背中のように
見えはするけれども 聞こえない声だ

その声が樹々の葉にふりそそぐ
陽の光のざわめきのように
みるみる広がってゆく

豊かな土壌をみだし
そびえる山脈に漫々とたたえて
今 透明で巨大なコーラスになる

よく生きよ よく生きよ

雄物の川辺 春満ちて よろこび開く 花の群
湧く姫神の泉にも ゆかしき樹々の香りあり
ああ かぐわしきふるさとに
さやかにめぐる春秋は ここに育む若人の
ほがらかの 頬に呼びかけるよ
善意と美とを心にたたえて

よく生きよ 大曲中学 大曲中学の若人よ

よく生きよ よく生きよ

そうだ この言葉はギリシャや孔孟の昔から
選ばれた知者たちが いちはやく耳にとめ
ただただその意味を聞き取るために
刻苦の生涯を 歩いた

人類最初の そして 最も偉大な言葉なのだ

人類は無数の言葉をもつゆえに
他の生き物にまさるが
人類を人類たらしめた 最初の言葉を
あまり 確かには知っていない
なぜなら それはこの耳にとらえるには
あまりにも大きすぎる言葉だからだ
われらは今 燦燦と降り注ぐ光の中で
自らの中に 自らの声を聞こう
とらえにくいのが 誇らかに
力強い 呼びかけの声を聞こう
人類永遠の 賛歌を聞こう

よく生きよ
恵まれた この日に――

駒に一点 白雲は湧き 往きては還る鳥の群れ
ここ仙北をみはるかす わが学び舎に栄えあれ
いま 緑濃きふるさとの 野山を渡るそよ風は
ここに集える若人の
すこやかな肩に呼びかけるよ
聡明と意志を瞳にたたえて
よく生きよ 大曲中学
大曲中学の若人よ

(太字は合唱、細字は呼びかけ)

うでした。

馳せ参じた首都圏在住の先輩
たちは、久しく歌う機会が無
かった秋田県民歌を、中学生た
ちの若い歌声に合せて、思いつ
切り歌うことができて、まるで
大曲に帰ったような気がした
と、大変満足の表情を浮かべて
いました。

御法川信英議員も参加

会場には衆議院議員の御法川

首都圏大曲会は、大曲中学校
修学旅行団が上野公園の野外ス

首都圏大曲会も歓迎・協力



首都圏大曲会からは、ウィークデイにも関わら
ず幹事など有志が、会の旗を持って歓迎し、中
学生たちと一緒に感動のコーラスをした

信英氏も、公務多忙のところ参
加してくださいました。御法川
議員は参加者たちと親しく郷土
談義に花を咲かせ、今年の「大
曲の花火」は、打ち上げられた
花火もバラエティに富んでいて
いちだんと華やかで良かった、
などと話していました。

首都圏大曲会からも大釜会長
を初め幹事有志が参加し、久し
ぶりの大曲のムードにどっぷり
浸っていました。

「ふるさと貢献」
を信条とする首
都圏大曲会は、
将来の大仙市を
背負って立つ地
元の中学生を心
から歓迎しまし
た。若い日、日
本の首都である
東京で、先輩た
ちと声を合わ
せ、校歌「よく
生きよ」と秋田
県民歌を歌うこ
とが、大きな誇
りと自信を身に
付ける行動に繋
がると考えてい
るからです。

大仙市役所訪問

払田柵跡、旧池田氏庭園、旧本郷家住宅など

貴重な文化財の保存・活用・継承を担う！

観光文化スポーツ部 文化財課

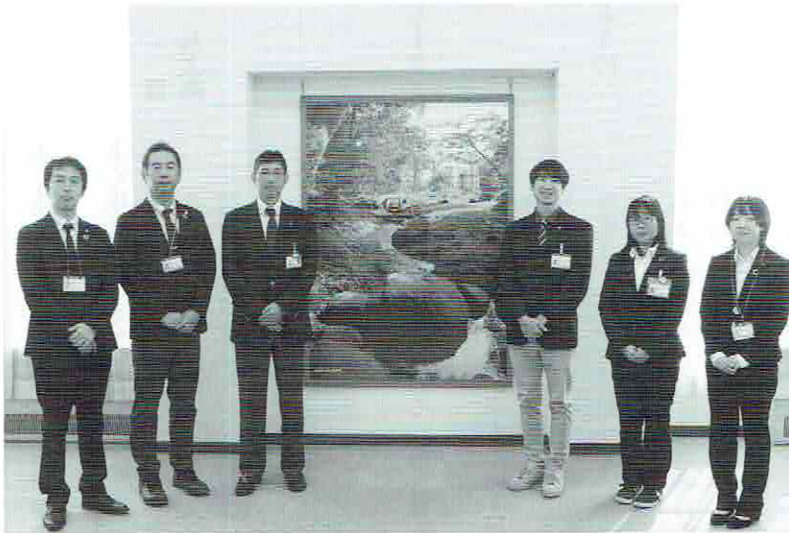
飛翔する！
大仙市

観光・地域活性化を目指す 大仙市文化財保存活用化地域計画

観光立国を標榜する我が国において、観光産業は重要な産業の一角を占めています。私たちのふるさと大仙市は全国に知られる『花火のまち』とともに、雄大な自然を有し、多様で豊かな文化と食を持つ観光都市と言っても過言ではありません。今号の「大仙市役所訪問」は、観光文化やスポーツを一手に取り仕切る観光文化スポーツ部文化財課を訪ねて、佐藤課長に色々とご説明いただきました。

豊富な観光資源

次世代へ適切な保存と継承



旧池田氏庭園写真を前に、観光文化スポーツ部文化財課のみなさん(文化庁出向者を除く)
左から、星宮主査、今野主幹、佐藤課長、佐藤主査、森川主幹、大沢主事



文化財課 佐藤課長

観光文化スポーツ部 文化財課の職掌

令和三年四月に大仙市は組織機構を見直し、文化財課は観光、温泉、スポーツ、文化財が一つになった観光文化スポーツ部として、市長部局に再編されました。また昨年まで文化財の体制は、保存活用班と学芸普及班に別れていましたが、課全体で協力し今後の事業の実施を念頭に、文化財班一つに統合しました。課員は、文化庁に出向している一名とともに、課長を含め7名体制です。なお各地域に所在する文化財は、それぞれの各公民館から協力を得ています。業務内容は多岐にわたり、大きく区分すると「文化財の保存・活用・継承」となります。

文化財の保存・活用・継承

補助金を活用した整備計画に基づき整備保存及び施設の維持管理を行います。また、文化財として指定されているものや、これから指定される可能性のあるものを調査して、管理台帳の整備などです。

活用については、払田柵跡、旧池田氏庭園、旧本郷家住宅といった文化財施設の公開や、文化財の展示展の開催です。

継承には無形、有形の文化財がありますが、人口減少等が影響してその保存継承も困難になりつつあります。そこで、文化財をまちづくりに活かすとともに担い手を確保し、地域全体で文化財の保存・継承に向けた体制づくりに取り組んでいます。

この他、市全体を「一地域」に見立て、文化財の保存・活用に関する将来的なビジョンや方向性を定める総合的な計画となるマスタープラン、また文化財を次世代へ適切かつ確実に継承して、観光・地域活性化など最大限活用する具体的なアクションプランとして、この両方を担う「大仙市文化財保存活用化地域計画」を策定しています。

この計画には、市民、地域、行政等多様な主体が参画します。大仙市が誇る地域資源の様々な文化財を次世代へ適切に保存・継承する体制の整備です。新型コロナウイルス禍でダメージを受けた地域経済の回復と、観光交流人口の拡大を図り、観光やまちづくりの資源として、最大限活用を構想を構築するものです。

現在大仙市は、地方創生の第一の矢「大仙市花火産業構想」、第二の矢「大仙市農業と食に関する活性化基本構想」を展開中です。これに続く第三の矢を、この「大仙市文化財保存活用計画」を核に位置づけ、地方創生の加速を考えています。

「大曲の花火」は現在、文化財保護法の指定は受けていませんが、「秋田県の伝統的工芸品」の指定を受けています。まちの発展と共に花火文化も発展し、大仙市の特色の一つとなっています。特に毎夏に行われる「全国花火競技大会・大曲の花火」の知名度は高く、本市の発展に極めて重要な存在です。

大仙市の主たる文化財

大仙市内には、文化財保護法



上は、仙北地域の古代城柵「払田柵跡」南門。下は、大曲地域にある国重要文化財「古四王神社」本殿。室町時代の造営と言われる

事着」が、無形文化財では南外地域の「櫓間焼」が指定されています。

その他には「大曲の花火」が、秋田県の「伝統的工芸品」として指定されています。

内小友の「佐藤家住宅」は、令和4年12月に指定されたばかりで、主屋の他、文庫蔵、味噌蔵、米蔵及び検査所、大工小屋の建造物5棟が指定されました。

明治29年の陸羽地震の被災後、約10年をかけて再建された邸宅であり、頑丈なトラスと金具を多用した小屋組みにより、柱の少ない大空間を、極めて高い天井高で実現するなど、近代和風住宅の特色をよく示しています。また黒柿等の銘木をふんだんに使用し、高い大工技術を駆使して繊細な衣装を持つ接客



佐藤家(内小友)住宅主屋玄関を望む

空間を作り出しています。

現在個人所有物件のため、通常は一般公開をしていませんが、限定して公開されています。

周知の埋蔵文化財(遺跡)は四九〇箇所存在し、その他にも未指定の文化財も多数存在します。包蔵地としては、八乙女城跡、十六沢城跡、また未指定の文化財として、仙北平野の散居景観などがあげられます。

法隆寺の壁画模写に生涯を捧げた鈴木空如

ここで、法隆寺金堂壁画模写に一生を捧げた大仙市太田地区出身の画家、鈴木空如をご紹介します。



本郷家(角間川)の奥座敷。藤井棋聖が来仙し、棋聖戦が行われる予定だった



雄大な散居景観、大台スキー場より見る仙北平野。遠くに秀麗・鳥海山を望む



第十一号壁(普賢菩薩像)



十三仏図(卒業制作)

空如は大仙市太田町小神成の旧家に生まれ、明治、大正、昭和にかけて法隆寺金堂壁画十二面の模写と、仏教図像集の研究に生涯を捧げた信仰の画家です。空如による金堂壁画の模写は、仏画家としての最も円熟した頃に始め、ひとり三十年に渡り、現在のような優れた照明設備の無い中、誰の援助も受けず、そして名声も求めず、数十回に渡り法隆寺を訪れ、つぶさに模

写して真に迫るまで古色を吟味し、艱難辛苦を乗り越えて、生涯で三組の模写絵を完成させました。空如が描いた作品は、精巧で忠実な模写絵であり、法隆寺金堂壁画が昭和24年1月の火災により焼損し復元される際、空如作品が大いに参考にされるなど、大変貴重な存在となっています。金堂壁画描写三作品のうち、

第一作目と三作目は、鈴木家のご厚意で大仙市に寄贈頂き、大切に保存するとともに、機会をとらえて一般公開や国内の美術館への貸出などを行っていきます。令和5年は鈴木空如の生誕一五〇年にあたり、これを記念して世界遺産登録三十年を迎える奈良県斑鳩町にある法隆寺内・聖徳会館で特別展を開催しました。11月3日から18日まで、



黙々と抜き書き作業をする鈴木空如
(法隆寺にて)

大仙市が保有する法隆寺金堂壁画の原寸大模本(大壁3点・縦3メートル×横2.5メートル、小壁8点・縦3メートル、横は1.5メートル)12点のほか、堂壁画抜き写し(主要な部分を抜き出して写したもの)6点を展示し、国内外から多くの方々に来訪頂きました。

観光面から人気の文化財

旧池田氏庭園 観光面から人気の文化財は、まず仙北地域にある「旧池田氏庭園」です。東北三大地主として知られる池田家により、明治末から大正初期にかけて造園されました。

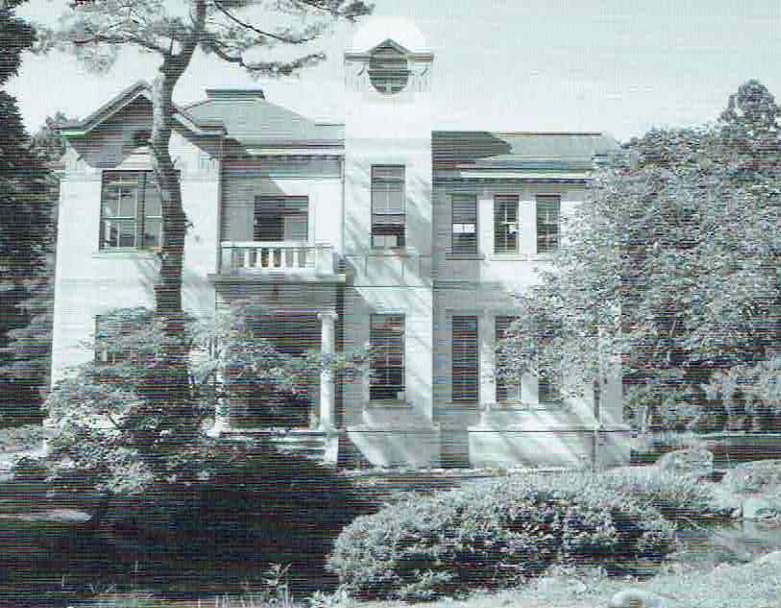
庭園の敷地面積は約4万2千

平方メートル、敷地の形状は池田家の家紋である亀甲桔梗と同じ六角形に造成されています。近代造園の祖・長岡安平が築庭した池泉・回遊式の大庭園には、高さ4メートル、傘の直径約4メートル、面積は八畳間に相当する国内最大級の雪見灯籠があり、そのスケール感は見る人を圧倒し、驚きと感動を与えます。灯籠はどの位置から見ても絶妙なバランス美を醸し出しています。

庭園内には秋田県初とされる鉄筋コンクリート工法による建造物となる洋館があります。大正11年に私設図書館として、また来客用の迎賓館として建築され、外壁は白磁のタイル張り、施設内の壁紙には国会議事堂が使用していたものと同種の「金唐革紙」が使用されています。当時の最新技術と最高の資材が惜しみなく注ぎ込まれた、非常に価値のある建築物です。

角間川地区旧三家 角間川は江戸時代から明治時代後期雄物川舟運最大の中継地として栄え、往時を偲ばせる旧家として、本郷家、北島家、荒川家が現存しています。

三家ともに、日本の伝統建築の成熟期(明治・昭和初期)に建てられ、「近代和風建築の博物館」とも言える名建築群を形成しています。特に旧本郷家住



重要文化財「旧池田氏庭園、白亜の洋館」
大正11年、県内初の洋館として知られる



国内最大級の雪見灯籠。庭園にバランス
良く収まり見る人を圧倒する

敷地内には、四年をかけて米蔵を修復し、佐藤家住宅パネル展、企画展、斎藤光郎家資料（伊勢型紙）展、郷土画家・



国重要文化財となった佐藤家住宅のパネル展も
開催され、賑わった

宅は、現在では入手困難な銘木がふんだんに利用され、独特のデザインで、平成29年11月に国登録有形文化財に登録されました。

この旧三家は所有者のご厚意により大仙市に寄贈され、現在、計画的に修繕を重ねており、貴重な歴史観光施設として一般公開しています。市内外からの来訪者が増加し注目されています。

一般公開 旧池田氏庭園、角間川旧三家とも4月下旬から11月中旬まで一般公開しています。月曜日は休園。（祝日の場合は翌日休園）

【旧池田氏庭園】 今年のガイド

案内付きの公開は、初夏（5月20日～6月4日）、大曲の花火期間（8月25日～8月27日）、秋季（10月14日～11月12日）で実施しました。開園時間は、9時～16時（最終入園15時30分）。入園料は、通常は大人一人300円です。無料公開日は、平成24年に今上天皇が皇太子時代に行啓され、庭園をご視察頂いた6月1日、東北文化の日（10月28日、29日）です。また「健幸まちづくりプロジェクト」の一環として、大仙市オリジナル版活動量計（タニタ製）をお持ちの方も無料です。

松岡白石などの展示に活用しています。また、バンド演奏や生け花展も開催されました。

【角間川旧三家】川のまち歴史

交流の杜及びまちめぐり案内所として整備を進めています。一般公開期間には多くの来訪者があります。観光での活用他、地域住民による会議等での活用も盛んです。

【線刻千手観音等鏡像】 常時公

開は無く、毎年8月17日の例大祭に合わせてご開帳されます。

取材にご協力頂いて

国際平和と国民生活の安定を象徴するとする「観光立国推進基本法」は平成18年に制定されました。この基本法は観光立国として我が国の観光の在り方を強く謳い上げたものです。今度、佐藤文化財課長に大仙市の観光政策をお伺いしながら、大仙市の豊富な文化財や資源を今更ながら知ることが出来、その保存、活用、継承に努める職員の方々に感謝と敬意を表します。

首都圏大曲会の存在も、ふるさとに誇れる文化が存在し、そ



秋田県唯一の国宝を祀る水神社
（大仙市豊川）

れを手厚く守り、継承されていることが、ふるさとを愛し貢献する「会の信条」に繋がっていることを強く感じました。そして大仙市の優れた観光資源が、紹介されているように豊富なことを知り、併せて将来に向けて継承しようとするの大仙市の努力を知りました。

観光資源は今後益々発展する大仙市の宝です。ふるさとを離れていても、ふるさと大仙市の文化と観光を自信を持って吹聴できることを、頼もしくかつ嬉しく感じた取材でした。

（首都圏大曲会 大釜 茂璋）

本醸造生貯蔵酒

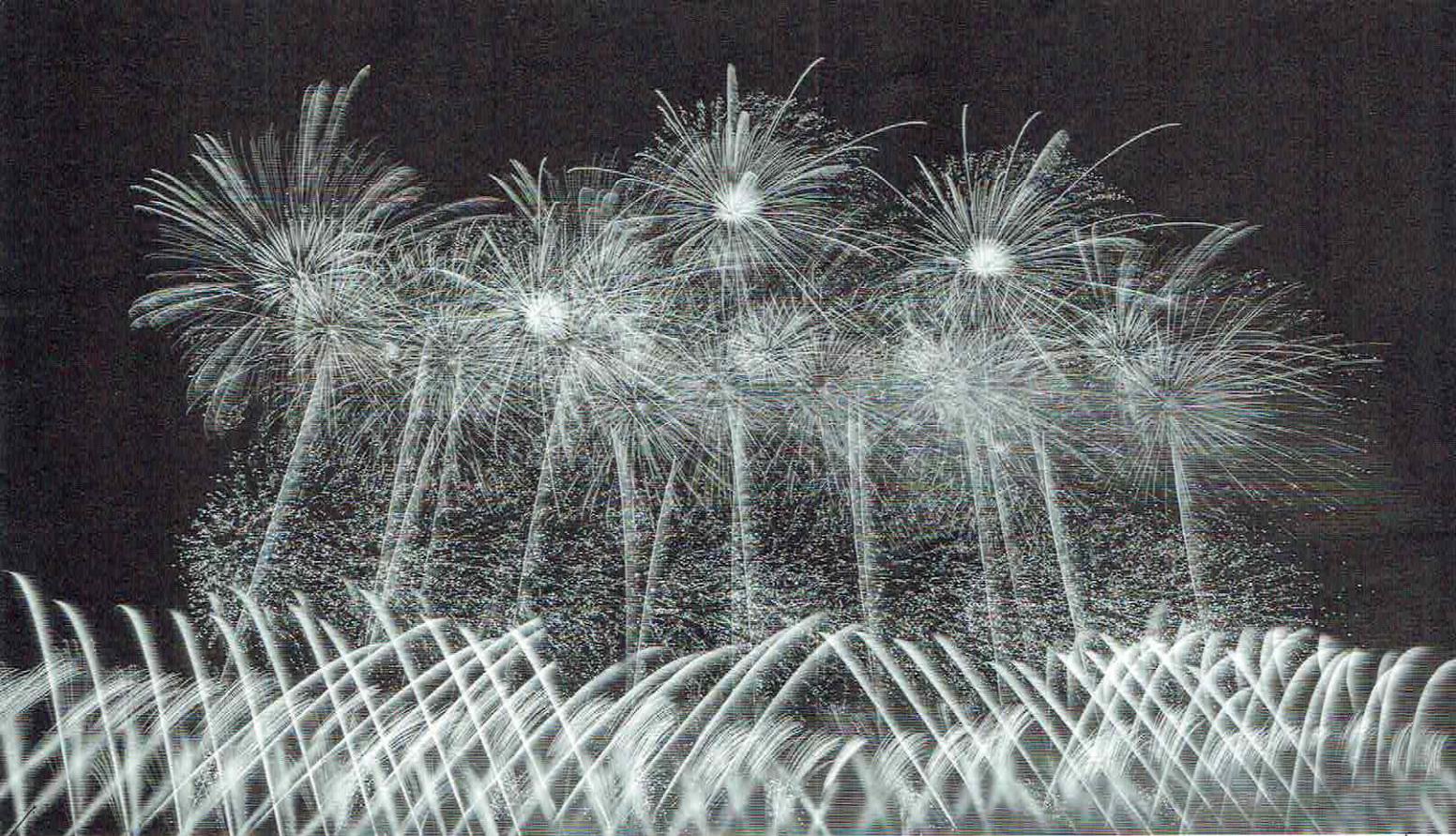
ひでよし ひょうたん

お酒を注ぐ時に聞こえる「ひょうたん」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。

未成年者の方にはお酒をお販売しません。

（名）鈴木酒造店
大仙市長野寺二丁目9
電話 0197-560212

800ml ¥396(税込)



大会提供花火は「大曲の花火」らしい大きなスケールで観る人を圧倒する

華麗に、重厚に大曲の夜空を飾る！

第95回 全国花火競技大会 (大曲の花火)

最優秀賞・内閣総理大臣賞

野村花火工業株式会社 (茨城)

毎年八月の最終土曜日に開催される「全国花火競技大会」(大曲の花火)は、その規模や華やかさ重厚さにおいて、文字通り全国一の花火大会であることは間違いありません。

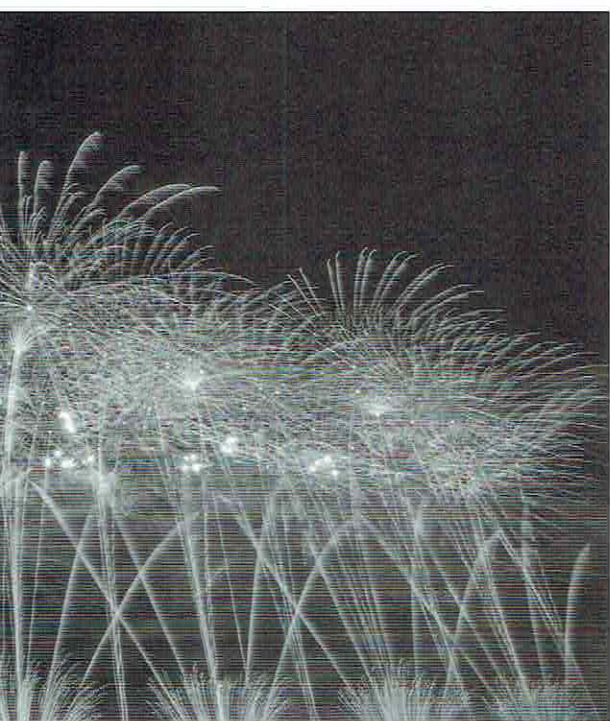
まさに地元に住んでいる人々は勿論、大仙市をふるさととする私たちにとつても誇りであり自慢です。

お諏訪様祭典の余興

「大曲の花火」は一九一〇年(明治43年)、大曲の鎮守様で

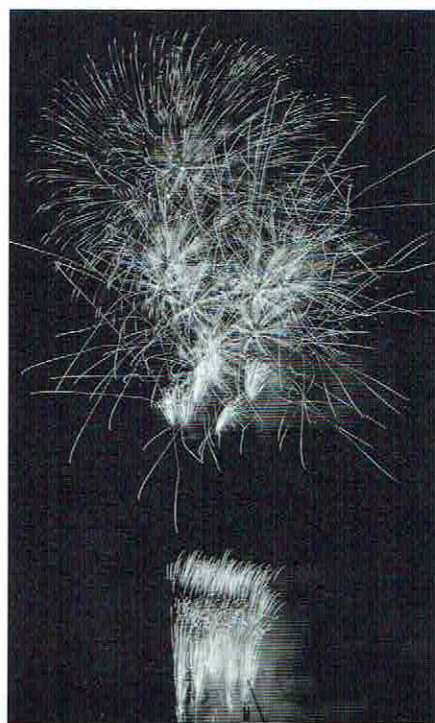
ある諏訪神社祭典の余興としての、「奥羽六県煙火共進会」が始まりでした。歴史を紐解くと既にこれまで、一〇〇有余年の足跡を誇ります。

一九六四年(昭和39年)、先の東京オリムピックの年に通産大臣賞が供与され、それとともに創造花火競技大会が開始されています。その後ドイツが東西に別れていた一九七九年(昭和57年)当時、西ドイツ連邦のボン市の要請で「日独親善花火」を上げました。二〇〇〇年(平



第95回大会テーマは「平和」

人気の大会提供花火「展覧会の絵」



創造花火の部優勝「天気雨～雫をまとい、光立つ世界～」野村花火工業株式会社（茨城）

成12年）に内閣総理大臣賞が供与され、最優秀賞として現在に至っています。現在は、経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、文部科学大臣賞、観光庁長官賞も授与されています。

今年、第95回大会のテーマは「平和」。ロシアのウクライナ侵略や、ハマスとイスラエル衝突など世界は不穏な空気に包まれています。今こそ平和の重要性が認識されます。人類にとって平和こそ大切と訴える「大曲の花火」の存在を強く感じた第95回「大曲の花火」でした。



大会提供花火は雄物川河畔を埋め尽くした大観衆の、万雷の拍手と歓声で迎えらる

昼花火の部 優勝

「昇り曲付 五色の煙竜の舞」

福島県 菅野煙火店

今では珍しくなった昼花火。大空をキャンパスにした煙の芸術だ

花火と言えば夜の花火を思う人が多いようです。しかし私たちが子どもの頃は、色のついた煙の昼花火もありましたが多くは「ザンゲツ（残月）」と呼んでいましたが、天高く花火球が弾けると、小さな落下傘が飛び出して、子どもは勿論大人までも、竹竿を手に追いかけたものです。

それだけに今、「大曲の花火」のように、昼花火の芸術性を競うコンクールは全国的に珍しいと言われています。今年の「昼花火の部」で優勝は、福島県の菅野煙火店出品の、「昇り曲付五色の煙竜の舞」でした。

乳頭温泉郷

黒湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1

TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280

HP <http://www.kuroyu.com>



芯入り割物の部優勝「昇曲導付 五重芯変化菊」
野村花火工業株式会社(茨城県)

芯入り割物の部 優勝 「昇曲導付 五重芯変化菊」 野村花火工業（茨城）が圧勝

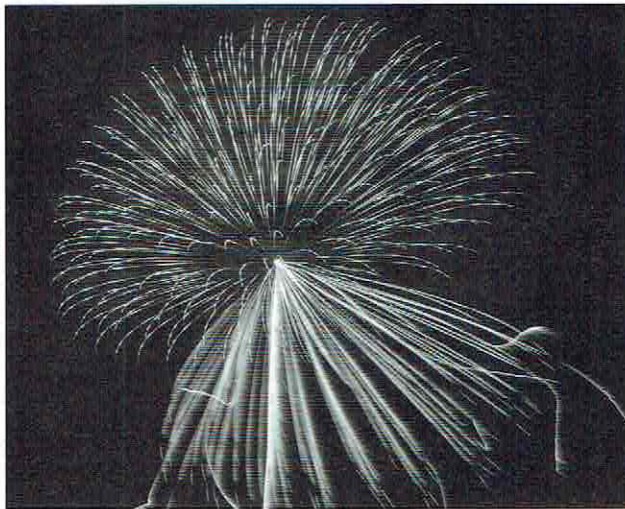
「大曲の花火」は全国の花火師たちから選抜かれ、その腕を競う花火競技大会として広く知られています。この大会での入賞は、花火師にとってはこの上もない名誉なことで大きな目標となっています。

「大曲の花火」は、想像を越えるほど多くの観客が押しかけますが、その観客たちの目が肥えていることでも知られています。打ち上げられた花火の円が少し歪んでいるものならブーイングが起こり、「ダメだ!」と言った、厳しい批評も飛び出すなど、花火師たちの腕が直接大観衆の目で験されるなど、他の花火大会とは違った緊張感があると言われます。

今年、芯割物の部で優勝をした茨城県の野村花火工業は、最優秀賞の内閣総理

大臣賞を受賞しており、常連入賞の実力派として知られています。割物の花火は「大曲の花火」の観客には馴染みの花火だけに、打ち上げられた花火の出来は観客の眼にも厳しく映ります。

野村花火工業の作品名は「昇曲導付五重芯変」です。美しい見事な五重芯が大曲の夜空にくっきりと浮かび出て、広い河畔の観客席を埋め尽くした大観衆の、溜息に似たような安堵感を伴った、万雷の拍手と歓声を呼んでいました。



自由玉の部優勝「海月 漂」
(茨城県山崎煙火製造所)



雄物川対岸から西山を背にして打上げられる大会提供花火は、文字通り大会の花だ

花火のまち 大仙市

令和六年度の開催予定

毎月、どこかで花火があがっている！

花火のまちとして知られる大仙市。夏八月最終土曜日に開催される全国花火競技大会「大曲の花火」はよく知られます。他に4月に開催する「大曲の花火」春の章、十月開催の「大曲の花火」秋の章を初め、毎月市内のどこかで花火がまつわる催しが賑やかに開催される活気ある元気なまちです。

◇1月1日(月)

ニューイヤ―花火

於・大曲ヒカリオ広場

◇2月3日(土)

太田の火まつり

於・太田グランドゴルフ場

◇3月22日(金)

大仙市合併記念日花火

於・丸子川 館の橋上流

◇4月10日(土)

内小友余日さくら花火観賞会

於・内小友余目公園地内

◇4月27日(土)

「大曲の花火・春の章」

新作花火コレクション2024

世界の花火・日本の花火

於・「大曲の花火」公園

◇5月18日(土)

会議所まつり花火

於・大曲ヒカリオ広場

◇6月1日(土)

第17回樋岡さなぶり酒花火

於・南外体育館前

◇7月5日(金)

秋田県立大曲支援学校

第33回七夕花火会

於・支援学校駐車場

◇7月6日(土)

花火通り商店街七夕花火

於・丸子橋上流

◇7月6日(土)

第41回協和七夕花火

於・協和船岡字上宇津野地

内

◇8月31日(土)

「第96回 全国花火競技大会」

「大曲の花火」

於・「大曲の花火」公園

◇9月14日(土)

「第45回 神岡南外花火大会」

於・中川原コミュニティ公園

園

◇10月5日(土)

「大曲の花火・秋の章」

花火芸術祭

於・「大曲の花火」公園

◇10月13日(日)

「第15回 四ッ屋まつり」

於・大仙市立四ッ屋公民館

◇11月上旬

国指定名勝「旧池田氏枳田分

家庭園」イルミネーションラ

イトアップ「晩秋のファンタ

ジーライトアップ」

於・旧池田氏枳田分家庭園

近辺

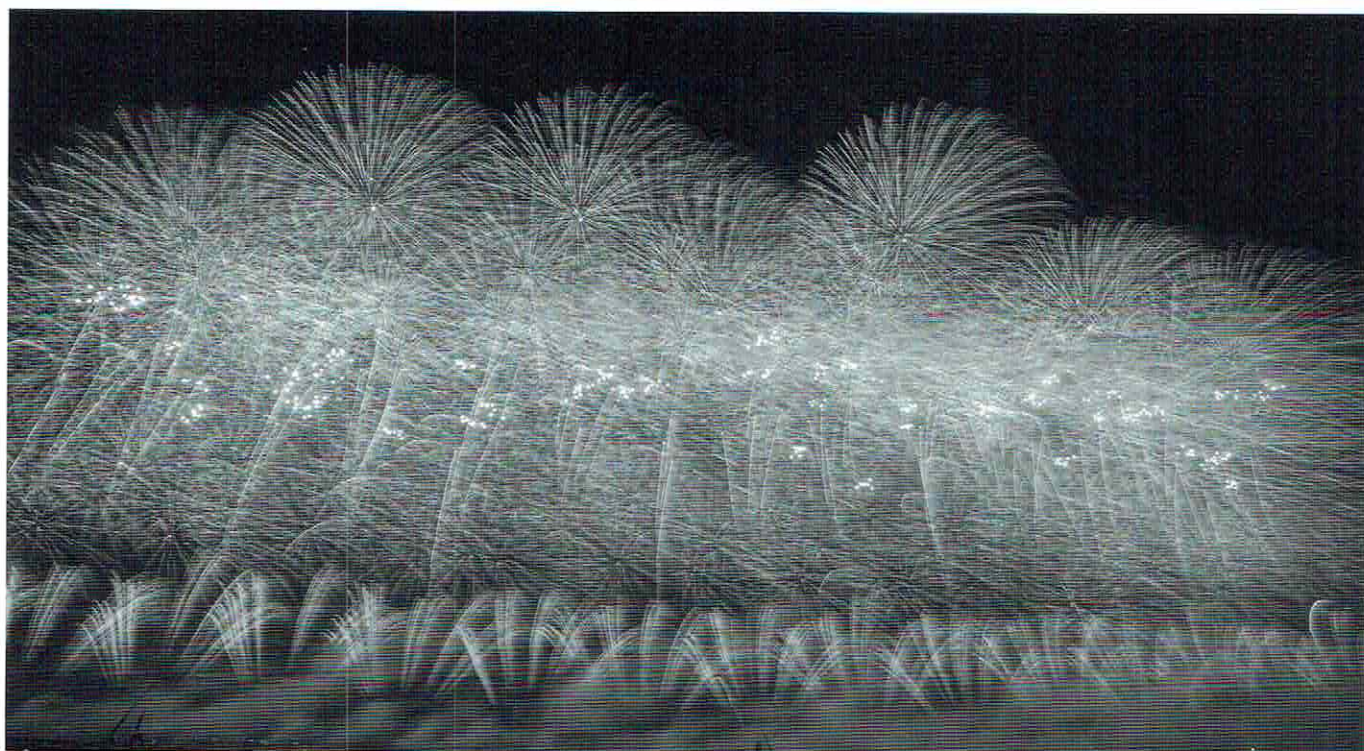
◇12月21日(土)

「大曲南部地区

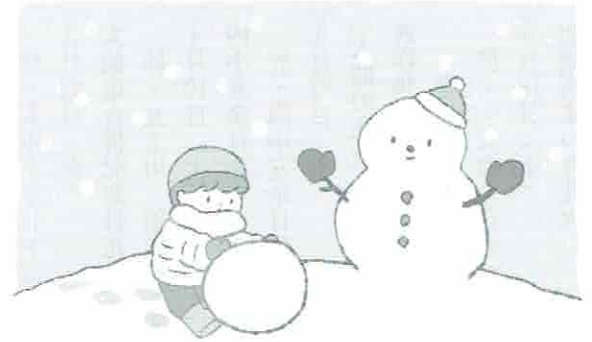
イルミネーション花火」

於・大仙市角間川町

はまぐら周辺特設会場



圧倒するスケールの大会提供花火は、大会のクライマックスとともに終演に近づく寂しさがある



なかまの広場

おおまがり慕情

作詞 黒皮 羽生
作曲 平野 桂三

寒くないかい 丸子の橋で
肩を抱く手の あたたかさ
人目忍んだ 二人の運命(さため)
燃えて尽きない ああ、あなた

情け流しの 雄物の川に
溶けて淡雪 はかなくて
風の吹きよに 揺れながら
死ぬも生きるも 貴方のままと
影を重ねて ああ、涙
濡れて咲いてる 愛染の

風の噂に 尋ねてみたが

呼べどかえらぬ 岳(やま)の上
雪に覆われた 日暮れの途(みち)に
想いさまよう ああ、あなた
遠くネオンの おおまがり

人生模様

作詞 黒皮 羽生
作曲 中島 昭二

親にもらった 人生ひとつ
なんで粗末に されようか
運否天賦と 言うけれど
紅く咲いても 散る花は
めぐる季節に めぐる季節に
ああ……炎(ほむら) 立ち

義理や人情の 人生灯かり
数えあげたら キリがない
意地を張っては 突き放す
男心を 誰が知る
熱い情けに 熱い情けに
ああ……涙して

浮世舞台は 人生勝負
中途半端は 許されぬ
勝つも負けるも 時の運
なんでも主役か わき役か
幕が引くまで 幕が引くまで
ああ……努めます

*黒皮 羽生(くろかわ ばしょう)
首都圏大曲会幹事・佐藤重光さんのペ

ンネームです。水産加工会社を経営する傍ら、長年にわたり 作詞活動を趣味としています。CDを出すとともに、ユーチューブやカラオケ等で歌われます。「人生模様」は、大仙市出身の民謡歌手千葉とし子さんが持ち歌として歌っています。

谷

作詞 大友 末五郎
作曲 筒美 亮
編曲 左峰 捨比古

岩にそびえる 松の根の
命を支える 心意気
天の恵みの 陽を浴びて
いざという時や

何時でもこいと
じっと見上げる 谷の水

空を写した 谷底は
大地を支える 水の里
雨も嵐も 受け止めて
人の営み 守ってくれる
目には見えない 懐で

谷の清水(きよみず) 流れ行く
小川は夕日の 秋の暮れ
くるり病葉(わくらば) 舞い落ちて
ねむる細波(ほそなみ) 小森の歌か
旅の行き先 海の里

妹よ ふるさとよ

作詞・作曲 大友 末五郎

学校帰りの 田川のほとり
野花を摘み摘み 歌ってた
妹遠い 夢の中

ふるさと宇都宮 夕霧の中
目覚めて今日の 幸せ祈る

幾年(いくとせ) 過ぎても

心にそっと

忘れることなく 蘇える

私の 嫁入り妹が

背(そむ) いてこそかいて

何度も泣いて

送ってくれた ふるさとの駅

互いの家族で 帰った我が家

幸せ子連れの 里帰り

迎えてくれた 父母の

あの日のいろり端 焚火の香り

螢を孫に 手渡す笑顔

*大友 末五郎(おおともすえごろう)

大仙市首都圏ふるさと会を構成する「首都圏にしせんぼく会」の所属。作詞を趣味とする首都圏大曲会幹事の佐藤重光さんの友人。大友さんは作詞と共に作曲も趣味とする。作品が出来上がると、「ふるさと大曲」編集部にもCDを届けて下さいます。作品の一部を紹介しました。

「ふるさと貢献」をモットーに大曲を愛した人

首都圏大曲会

鈴木 繁副会長 急逝

死の直前まで会活動に努力

首都圏大曲会の鈴木 繁副会長は肺炎で入院中のところ、十一月三日午後六時五十九分に逝去されたこと家族からのご連絡がありました。鈴木副会長はこれまで首都圏大曲会の中心として活躍され、今年八月五日の総会兼親睦会にも、元気に参加しただけに驚きでした。これは首都圏大曲会にとり大きな痛手です。葬儀は十一月九日、上尾市の上尾伊奈葬祭場で家族葬としてしめやかに執り行われました。首都圏大曲会からは生花をお供えするとともに、大釜会長と築地副会長が参列し、ご冥福をお祈りしお別れをしました。

ユーモア巧み 会のまとめ役

鈴木繁副会長の訃報が首都圏大曲会に知らされたのは、十一月四日の午後の事でした。嫁いで中村姓に変わった鈴木さん一人娘のあやさんからの電話でした。



鈴木 繁副会長

た。「父が昨日の夕方、6時59分、間質性肺炎で、入院先の病院で亡くなりました」という声に、私は耳を疑いました。十月二十九日に開催された定例幹事会

には、肺炎で体調を崩したとの理由で欠席した鈴木さんでした。が、よもや死に至るとは考えもしませんでした。いつものようにユーモアを交えながら「参った、参った。死ぬかと思ったよ」と、冗談交じりの後日談と共に元気な姿を見せてくれるものとはばかり思っていました。

そのため私は、あやさんからの電話の内容を夢中で二度、三度と聞き返したほどでした。鈴木さんは八月五日、新橋の第一ホテル東京で開催された首都圏大曲会の総会兼親睦会にも元気に参加し、副会長としても会員や来客の応対を積極的に務めていたのです。

社会情勢が変わり前回までの会場から新しい会場に変更しな

ければならなかった時も、積極的に会場探しをして第一ホテル東京を探し出したのも鈴木副会長でした。

鈴木さんはふるさとの大曲が大好き人間で、首都圏大曲会の運営のために、誠心誠意尽くしてくださいました。首都圏大曲会の信条の一つとして「ふるさと貢献」が謳われていますが、貢献の意味と行動を真剣に考えて行動してくれた人でした。

会報「ふるさと大曲」には積極的に寄稿し、自分が生まれ育った大曲をこよなく愛し、腕白に過ごしたであろう少年時代を、懐かしく偲びながら語り、書いてくれた人でした。

ご存知の方も多いと思いますが、鈴木さんは大曲駅前の大曲タクシー（50番タクシー）設立時の社長の末っ子として生まれ、天真爛漫に育った沢山の思い出を、饒舌に、そして懐かしく話す人でした。幼い頃の家族の話をよくする人でした。嫉の厳しい中で育ちながらもご両親を尊敬し、中でもお母さん大好き。ときどき喧嘩をしながらも兄弟仲良く、その思い出を昨日の事のように語る人でした。

それと共に小・中学校の友人関係を本当に大事にした人でした。その時代のことをよく話題にしては、当時を夢見るように

思っている人でした。東京でも学校時代の友人はしばしば集い、熱い友情で結ばれていました。鈴木さん葬儀の斎場にも、乳頭温泉郷「妙乃湯」、夏瀬温泉「都わすれ」の佐藤京子女将さんの生花が供えられました。が、私には小・中学校時代の友人たちみなさんの悼み気持ちを京子女将が代表して供花したように思えてなりませんでした。

鈴木さんは、友人の方々にも積極的に首都圏大曲会への入会を働きかけてくださいました。会報発行にあたっては、広告協力をお願いを買って出て努力し、友人も鈴木さんの気持ちに快く応じてくださいました。

性格は正義感が強く一本気な鈴木さんでしたが、他人には気働きのある優しい人でした。ビールが大好きで、一杯入って口が軽くなると輪をかけて饒舌になりました。上尾夏祭りが大好きで、話し出すと身を乗り出し、一方ご家族を大事にし、特にお孫さんの話しになると相手を崩す好々爺でした。

今私は、感謝を込めて鈴木副会長のご冥福をお祈りし、首都圏大曲会に尽くして頂いた功績に厚く御礼を申し上げます。

首都圏大曲会会長

大釜 茂 璋

第14回 四ツ屋まつり

熱気球・花火灯籠・打上げ花火

公民館
建替え中

四ツ屋小学校を会場に



「四ツ屋まつり」お馴染みの花火灯籠。今年は子どもたちが作成した「子ども花火灯籠」の展示のみを行った

ステージ発表や作品展示も

地域住民、心一つに盛り立てる

十月八日（日）、大仙市四ツ屋地区コミュニティ会議（藤井隆夫会長、齋藤健太郎実行委員長）主催「第14回四ツ屋まつり」が開催されました。四ツ屋公民館が解体工事のため隣りの四ツ屋小学校に会場を移しての開催でした。会場は変わってもステージ発表や作品展示、おまつり広場も例年に増して賑やかに展開されました。その上、今年は熱気球の搭乗体験も行われ、恒例の花火と共に大好評の「四ツ屋まつり」でした。

旧公民館にも感謝を

込めて別れを惜しむ

第14回を迎えて「四ツ屋まつり」は、一層盛大に盛り上がり、これまで会場の中心として親しまれて



四ツ屋まつりのオープニングは、四ツ屋小学校器楽部と大曲中学校吹奏楽部による合同の演奏で、軽快かつ賑やかに始まった

思い出多い旧公民館は、ここを本拠に活動した地域住民たちの思いが蘇えり、別れを惜しむ感謝の声が多く聞かれました。

まつりのオープニングは、老松大仙市長らの祝辞に次いで、四ツ屋小学校器楽部と大曲中学校吹奏楽部による合同演奏です。若人らしく澁瀬とした迫力漲る演奏で、詰めかけた大勢の観客から、盛んな拍手を浴びていました。

ついで四ツ屋こども園の年長組が、童謡「とんぼのめがね」など2曲を元氣一杯に歌い、みんなでお遊戯をしました。

公民館を利用した生涯学習の成果発表として、

新装なって部分オープンしていた公民館で、「パッチワーク」や「押し花」「習字」などの作品が展示されました。観客は新公民館の内覧を兼ねて大勢が訪れました。

会場の四ツ屋小学校駐車場では熱気球への搭乗体験が行われ人気を呼んでいました。真っ青



ご挨拶をする老松大仙市長



「バスケットをやろう!」と呼びかける四ツ屋小学校バスケット部のみなさん

に澄んだ秋空20メートルの高さにぼつかり浮かんだ熱気球。それはまさに幻想的な絵として子どもたちの目に焼き付き、母親や友達と一緒に搭乗していました。

暗くなりだした「おまつり広場」。5時半、5基の花火灯籠に明かりが灯され、描かれた文字や絵が浮かび上がると、「おまつり広場」がスタートです。

大曲昭和57年会による「梵天唄」が会場を盛り上げ、ヒップホップダンスやよさこい踊りが披露されました。

お隣りの「出店コーナー」も大繁盛で、知人、友人同士で話題も弾み、おまつりムードに駆けこんで大賑わいでした。



上は、「おまつり広場」のヒップホップダンス。下は、諏訪神社奉納梵天の大曲昭和57年会の勢ぞろい。威勢の良い宮入りの掛け声や歌も披露された



澄み切った秋空高く熱気球が浮かぶ



熱気球の搭乗体験もおこなわれ、子どもたちは大興奮

おまつりと言えば、鎮守の杜や神社の例大祭などが多く知られています。一方、「四ツ屋まつり」は四ツ屋地区コミュニティ会議主催とする、いわば地区住民の熱意によって行われているところに特徴があります。

そのため新型コロナウイルス禍の中でも規模を縮小するにはしても、毎年欠かさず開催されてきました。今年第十四回を迎え、今や四ツ屋地区に限られたおまつりではなく、内容も多岐に渡り、出演者も観客も地域にこだわらない「四ツ屋まつり」独特のカラーが顕著に表れていました。

おまつりと言えば、鎮守の杜神社の例大祭などが多く知られています。一方、「四ツ屋まつり」は四ツ屋地区コミュニティ会議主催とする、いわば地住民の熱意によって行われているところに特徴があります。そのため新型コロナウイルス禍の中で

そのため新型コロナ禍の中で



純和風の「よさこい踊り」もまつりに花を添えた

外国人技能実習生受入団体

だいすき協同組合

代表理事 赤木 達司

TATSUSHI AKAGI

攜帶/090-1353-7455

E-mail/dc284752@kg8.so-net.ne.jp

☐東京本部

T 154-0024

東京都世田谷区三軒茶屋1丁目39-7 ライオンズ・ステーションプラザ 三軒茶屋604

TEL 03-6320-0117

FAX 03-6320-8339

秋田清酒株式会社
秋田県大仙市戸地谷字天ヶ沢八三の一
・お酒は二十歳になってから。お酒はおいしく
・妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

秋田県大仙市戸地谷字天ヶ沢八三の一
お酒は二十歳になってから、お酒はおいしく進量を
妊婦中や授乳期の飲酒はお控えください。

出羽鶴

雪藏銘醸
で
わ
つ
る

TEL 0187 (63) 1224
FAX 0187 (66) 2277

大地の恵みとともに
秋田の心を醸す


 加太丸
 伝統の銘酒
 かりほ

http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp

「おまつり広場」の熱気 ヒップホップダンスやよさこい

「四ツ屋まつり」は第14回を迎え、幼稚園の子どもたちから大人まで、ステージ発表や「おまつり広場」など、思いっきり楽しめる特徴あるおまつりです。そして花火のまち・大仙市ならではの花火打上げも、地元の響屋大曲煙火の協力で、昼も夜も盛大なまつりとして発展、成長しました。



「出店コーナー」は友だち同士の楽しい会話に笑顔が一杯

四ツ屋小学校の校舎の空高く上に打ち上げられたワイドスターマイン。威勢よく花火が上がると、まつりの雰囲気はクライマックスに達する



「四ツ屋こども園」の園児たちも元気いっぱいのお遊戯でまつりの主役をつとめ、観客の盛んな拍手を浴びていた



老松市長(右から二人目)も、まつりのムードにすっかり融け込んで、若い市民たちと陽気に話し込んでいた



外国からのお客様までも見えて、日本のお祭りの雰囲気にとろけり浸り楽しそう

太陽が大平山の頂きに傾く頃から始まる「おまつり広場」の出し物も、「四ツ屋まつり」の楽しいムードをいや増してくれま。若者が演じるヒップホップダンスやよさこい踊りが、陽気な雰囲気程よく醸し出してくれま。また、お隣りの「出店コーナー」が提供するビールではほろ酔いの雰囲気、これに一層輪をかけてくれるのかもしれない。出演者も観客も気持ち一つになって、お祭りムードがはち切れるから。幻想的にライトアップされた花火灯籠が、まつりのムードを引き立ててくれます。

まつりのフィナーレは響屋が打ち上げるワイドスターマインでした。さすが大仙市は花火のまち。色とりどりに打ち上げられる500発の花火に、大勢の観客の歓声と拍手も盛大でした。

「四ツ屋まつり」実行委員長も務める響屋の齋藤社長は、「来年は地元の四ツ屋小学校が創立150年、「四ツ屋まつり」は15周年、どちらも節目の年に当たる。一層盛大に開催しよう」と話していました。(この項「秋田民報」より)

なお新四ツ屋公民館は、全館来年九月下旬、グランドオープンの予定です。

会長アピール

同級会を続ける意義

あ
色褪せない小学校当時の思い出

大釜茂璋 Ohkama Shigeaki



「思い出の
アルバム大
曲・角館六

弟の友人の蔵書の中に、「思い出のアルバム 大曲・角館・六郷」(無明舎出版)があった。明治24年に町制がしかれた大曲町を中心に、角館、六郷の明治、大正、昭和の戦後までの光景を

取めた一冊だ。弟の友人が生まれ育った大曲を離れる時、父親から、生まれ故郷を忘れるな、気持ちを含めて託された一冊という。

ふるさととは遠きにありて思うものと、石川県金沢市がふるさとの室生屋星は詠んだが、現在は星屋の時代とは違う。「こまち」が走り、今や大曲・東京間は日帰りの距離だ。しかし情報・交通機関の発達には目覚ましいものがあるが、地理的に距離が縮まったわけではない。それだけに、生まれ育ったふるさとの生活習慣や、通って来た地元

の歴史を忘れるなど、旅立つ息子に伝えようとした父親の思いは、良く分かる。

とここで私は、今年も九月に開かれた、小学校時代の同級会に参加した。米寿を前にして、小学校を卒業して何年になるか

両手の指を折って数えても、指が疲れるほど、何回か繰り返すほどの歳月が経った。そうなる

と不思議なもので、ふるさとへの思いは益々濃くなっていることに気付く。

星屋は、ふるさと金沢を遠く

離れた感傷に浸りきっている。し

かし私は、

「思い出の

アルバム大

曲・角館六

同級会

語り継ぐ米寿の集い

田口 恵子

(仙北市田沢湖町在住)

ふるさとに
学んだ日々の思い出を

集いて語る米寿の宴

春の運動会、秋の学芸会、校庭にはシンボルの古い柳の太木。全校生徒二百数十名の小さな学校だった。それだけに、学びも遊びも、何をやるにもみんなが一緒。米寿を迎えて今でも、思い出は鮮明に残り、尽きることがない。

空耳は

いつも近くに聞いた音

始業を告げる鐘の音かも

通った小学校は、始業の合図が職員室の前に吊り下げられた半鐘型の鐘だった。時間が来ると用務員の小母さんが、カンカンカンと甲高く叩いたものだ。鐘の音とともに生徒たちの遊ぶ声がびた

りと止み鐘の音は結構遠くまで聞こえて来て、今でも耳に残る。
* 鐘が鳴ったら止むまで、生徒たちはそれぞれの動きを止めて起立することになっていた。

空耳に

耳を澄ませば日暮れでも

遊ぶ子等呼ぶ母の声かも

冬の日暮れは早い。まして雪がちらつく日などは、三時が過ぎれば太陽は西山に傾き、夕方を感じた。「暗くなるよ」と子らと呼ば

どんぶくの

袖がちぎれて相撲取る

勝負の行方は明日の新聞で

同級会とは思いつく。あれは多分小学二年生だった。体操の時間、先生の指名で男子代表と女子の代表が相撲を取ることに

なった。女子に負けてたまものか。男子代表の私、立ち上がり、いきなり力まかせに女子の着ている

どんぶくの袖を引っ張ると、袖はスポッと抜けて勝負は引き分け。

米寿を前にした同級会でもそれは、笑い話の語り草になった。

新聞記事は、忘れられない私

ち同級会のトップニュースだ。

* どんぶく・胴着・胴衣。冬の季節、綿入れの防寒用衣服

学び舎に

思い出詰まる玉手箱

蓋を開ければ「赤とんぼ」舞う

け小焼けの空の下、子どもたちは夢中になって、赤とんぼを追いかけたものだ。あの頃は空一面に赤とんぼが舞っていた。黄金色に輝いた田圃の畔(あぜ)でうたった歌。ふるさとの秋の光景は、いつでも赤とんぼとともにある。

登り坂下り坂経て

八十路坂

姿整う米寿の夜明け

人生一筋、平坦な道を足取り軽く、鼻歌交じりに順調に歩けることは減多になかった。身も軽やかに、淡々と歩を進められる道、それは緩やかな下り坂。艱難辛苦、あえぎながら身体が重く感じたなら、それは人生の登り坂。私たちはみんな一緒に昭和の子。上り下りが激しい一本道だった。その道を通って、いつの間にか米寿に差し加かっている。

風バッコ

忘れて眠りし遠き日の

記憶の底より地吹雪は来る

厳しい北国の二月。唸り声をあげ、がたがた雨戸を揺らして、地吹雪が荒れ狂う夜。ぱちぱちと木の根っこが燃える囲炉裏の火を囲み、寒さに背中を丸めて子どもたちは、やがて訪れる春を待ちわびる。

早く寝ないと風バッコがさらいに来るよとせかされ、慌てて布団にもぐりこんだ子どもの頃の思い出。

* 風バッコは二月の地吹雪のこと。雨戸や障子をがたがた鳴らして吹いた二月の寒風。

東京郊外 ぶら〜り 散歩

小江戸 川越を訪ねる②

武蔵野の面影も残るグルメのまち



小江戸・川越は江戸の名残を残すまち。たっぷり江戸情緒を感じる重厚な商家が続く通りは魅力的。多くの観光客にも人気がある

都心から一時間

江戸の歴史と現代文化に巡り会えるまち

旅人 小川 おがわ 康さん やすし

(埼玉県富士見市在住)

江戸の名残りを残す埼玉県川越市。重厚な蔵の街に似合う「時の鐘」が往時を偲ばせます。古い観光都市と活気ある駅前や高層ビルも建つ近代的な文化都市です。

小江戸・川越市は都心から電車で一時間とからないう距離にあります。

小江戸と親しんで呼ばれるように、蔵造りの家並みの通りは、格別な情緒があります。

川越までは、東京・池袋から東上線を利用するの

が一般的でしたが、東京メトロ副都心線が開通してからより便利になりました。小江戸巡回バスや小江戸名所めぐりバスが走っていて、初めて訪れる人も気軽に観光を楽しめます。

一方、交通が至便で、街の姿は駅界隈の活気はもとより、高層ビルが建つ近代都市です。街



着物姿で観光する若い女性が、小江戸のまち並みを颯爽と人力車で通り抜ける



川越は都心からも近く交通も至便。小江戸の雰囲気とは裏腹に、近代的な活況溢れて、最近では高層ビルも目立つようになった



JR、東上線、西武新宿線などが集中する川越は近代的な雰囲気も併せ持つ(東上線川越駅前)



グルメのまち川越でも、うなぎはバツグンの人気を保っている



徳川家との所縁も深い喜多院には、江戸城から三代將軍家光公誕生の間や春日局化粧の間などが移築されていて、多くが重要文化財に指定されている



喜多院の五百羅漢も広く親しまれている



小江戸巡回バスも走っている



市指定文化財の「時の鐘」は、「残したい日本の音風景100選」。今でも6時、正午、15時、18時の一日4回、時を告げている



クラシックの雰囲気巡回バスは訪れる人々にも人気がある



あたたかい日溜まりのなかで、羅漢さんたちの賑やかなお喋りが聞こえてくるようだ



沈黙思考？それともただの居眠り？

の案内には市立美術館、博物館等も表示する文化のまちです。市立美術館は市制施行80周年事業として、平成14年、川越城二の丸跡にある市立博物館に隣接し、川越の商家のデザインを取

り入れた独特の外観を呈しています。展示される作品は、川越藩の画家、橋本雅邦、井上安治、森脇雲溪等の他、川越生まれの画家、古村雪岱、小茂田青樹、岩崎勝平、相原求一朗等の作品が展示されていて圧巻です。それとともに川越は、グルメのまちとして知られます。中には江戸時代創業のうなぎ屋や、中華、イタリアンなどとともに、名を知られた和食店など多くのお店が軒を並べます。他にスイーツも豊富で、訪れる人の食を満足させてくれます。

小江戸 川越にふさわしい雰囲気をもった市立美術館も人気がある





広報だいせん「だいせん日和」より

大曲高校陸上部 秋田県予選3連覇なる

12月、京都で行われる第35回全国高等学校女子駅伝競走大会出場権を兼ねた、秋田県予選大会が11月26日(日)、秋田市一周の長距離公認コースで開催されました。

この日出場した大曲高校陸上部女子駅伝チームは、優勝候補筆頭の前



県予選で3連覇を遂げた大曲高校陸上部女子駅伝チーム

評判に相応しい好走で優勝し、12月24日、京都市の「たけびスタジアム京都」を発着とする駅伝コースで行われる全国大会出場権を勝ち得ました。

秋田大会では、2区を走った菅原菫波さん(3年)が区間賞、続く3区で1位になると、その後に続く走者も安定した走りを見せて、1時間15分14秒の好タイムで優勝。見事3年連続で全国大会への出場を決めたものです。

鈴木優花選手(大曲高卒) 女子マラソン パリオリンピック出場へ

今年10月15日、東京の国立競技場をスタート&フィニッシュとして、パリ2024年オリンピック女子マラソン日本代表選手選考競技会が開催されました。

現在の日本女子マラソン界精鋭が競うこの大会で、大仙市中仙地区出身、大曲高校卒業の鈴木優花選手(第一生命グループ)が2時間24分09秒で優勝しました。この大会で1位と2位に与えられるパリ五輪マラソン日本代表内定の切符を鈴木選手は見事にしました。

鈴木選手は大曲高校陸上部では駅伝やインターハイでも活躍していました

鈴木選手は、この時代もそうだろう。私たち人間は、この体験をしつかりと活かし、学ばなければならない。▼首都圏大曲会は4年振りに総会兼親睦会を開催した。恐る恐るながらも感染症が相手だけに、万全を期しての開催である。目に見えない束縛から解放されたように、晴れやかな顔をした仲間たちが参集した。ふるさとを同じくする人にとつてふるさとと会の存在は、生まれ育った土地の懐かしさと温もりを味わうことの出来る集団だ。4年振りの会は大盛況だった。老松市長を初め地元からも大勢の方々が参加してくださり、ふるさととの味と雰囲気をつたり運んできてくださった。首都圏大曲会の信条である「ふるさと貢献」は、このような雰囲気の中から芽生え、育っていくのだと、聞いて、話して、飲んで食べる中で気付く。楽しかった。急逝した鈴木副会長は熱心な「ふるさと貢献」信奉者だった。ご冥福を祈りつつ惜しまれてならない。▼今年も大曲中学校の修学旅行団を上野公園に迎えた。東京の空の下で、後輩たちと声を揃えて校歌や秋田県民歌を歌い、「ふるさと貢献」を強く感じた。(大釜

が、東京の大東文化大学に進学して以後は急激に記録を伸ばし、日本の女子長距離陣のトップランナーとして躍り出ました。来年のパリオリンピックでの活躍が期待されます。みんなで応援をしましょう。

第71回全日本吹奏楽コンクール 大曲吹奏楽団 8回目の金賞受賞



8回目の金賞を受賞した大曲吹奏楽団のみなさん

10月29日、第71回全日本吹奏楽コンクール「職場・一般の部」が栃木県宇都宮市で行われ、東北代表として出場した大曲吹奏楽団(高橋直樹団長)が、金賞を受賞しました。この快挙は8年振りで8回目の金賞受賞となります。

同楽団は、7月30日に行われた秋田県大会、9月3日の東北大会で金賞を受賞して全日本大会への出場権を獲得し、4年振りの全国コンクール出場を果たしたものです。

当日は、課題曲の「レトロ」(天野正道)と、自由曲「パッサカリア」(ネルソン作曲)の2曲を演奏し、圧倒的な評価を得ました。



編集後記

▼パンデミックと化し地球規模で猛威を振るった新型コロナウイルス禍が5類に移行したところ、社会環境がどうにか落着きを取り戻した。それまでは毎日、テレビで発表される都道府県別の新型コロナウイルス感染者数に関心を集めていたが、撲滅された訳でも無いのに、いつの間にか新型コロナウイルスは、人々の関心から急激に冷めていった。▼それにしても多くの人間の命を奪い、これまでの人間の風習、生活習慣、価値観までを変えて、迷惑なことだった。人間の歴史はウィルスとの格闘の歴史だと言う。これからの時代もそうだろう。私たち人間は、この体験をしつかりと活かし、学ばなければならない。▼首都圏大曲会は4年振りに総会兼親睦会を開催した。恐る恐るながらも感染症が相手だけに、万全を期しての開催である。目に見えない束縛から解放されたように、晴れやかな顔をした仲間たちが参集した。ふるさとを同じくする人にとつてふるさとと会の存在は、生まれ育った土地の懐かしさと温もりを味わうことの出来る集団だ。4年振りの会は大盛況だった。老松市長を初め地元からも大勢の方々が参加してくださり、ふるさととの味と雰囲気をつたり運んできてくださった。首都圏大曲会の信条である「ふるさと貢献」は、このような雰囲気の中から芽生え、育っていくのだと、聞いて、話して、飲んで食べる中で気付く。楽しかった。急逝した鈴木副会長は熱心な「ふるさと貢献」信奉者だった。ご冥福を祈りつつ惜しまれてならない。▼今年も大曲中学校の修学旅行団を上野公園に迎えた。東京の空の下で、後輩たちと声を揃えて校歌や秋田県民歌を歌い、「ふるさと貢献」を強く感じた。(大釜

パンフレット・ポスター・
冊子印刷&製本など

印刷のことなら 何でも ご相談下さい。

原材料の仕入・固定コスト等、
秋田の立地を最大限に生かし
低価格・高品質の商品を
お客様にご提供すべく、
日々精進を致しております。

首都圏のお客様にも秋田協同印刷のモットーとする
『すべてはお客様のために』を『すべてのお客様のために』!
是非お感じ下さい!

ご連絡を頂ければ飛んで参りますので、
お気軽にお問合せを宜しくお願い申し上げます。

秋田協同印刷株式会社 首都圏担当

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1丁目39-7
ライオンズステーションプラザ三軒茶屋604

TEL.050-5820-4764
FAX.03-6320-8339



憩い

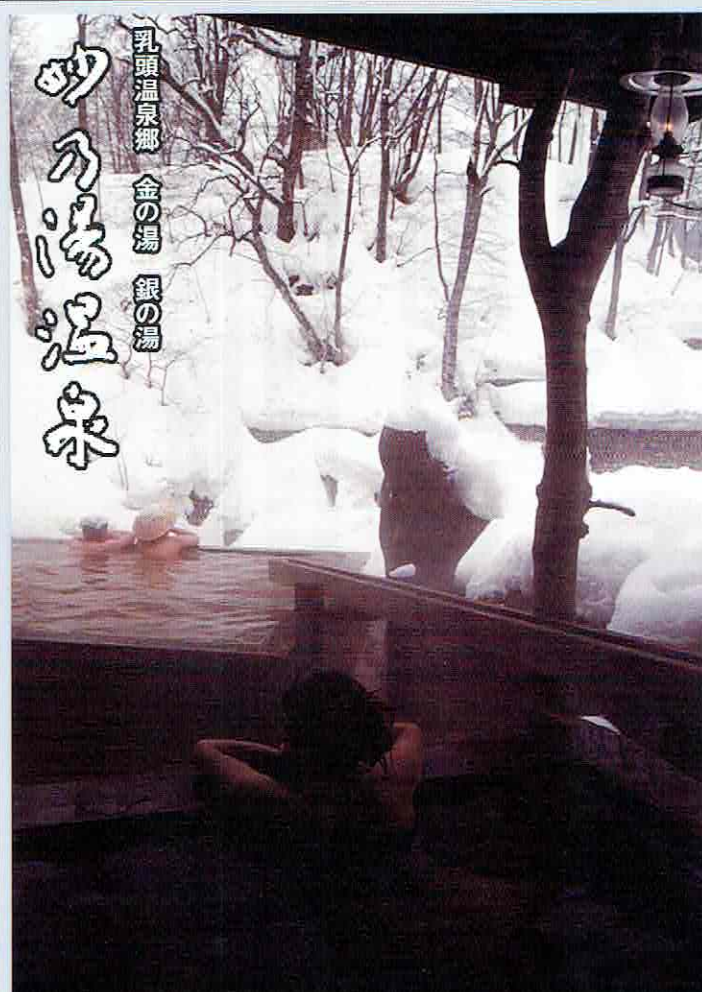
安らぎ

癒しの宿

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを兼ね備えた趣のあるいで湯で、非日常のときをゆっくりお楽しみください。

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1
電話0187-46-2740



妙乃湯温泉
乳頭温泉郷 金の湯 銀の湯



夏瀬温泉
都わすれ

秋田・田沢湖・抱返り溪谷 県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。音もなく雪降り積もった冬の朝。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。

全室抱返り溪谷を見渡しながらのかけ流し露天風呂付き。人里離れた理想郷で、静かに流れる至福のときをどうぞ。

〒014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187-44-2220